

敬悼録

十月				十一月				十二月						
四日	東中央四	向田	豊	六十六歳	廿八日	三糸一	岸本	漣之	八十五歳	廿二日	西谷町	上戸田	功	六十六歳
四日	西三津田町	西村	薫	六十八歳	廿七日	西辰川二	馬場	ノコ	八十七歳	廿二日	焼山ひのけ丘	神田	優子	八十三歳
七日	上平原町	橋本	貞雄	八十二歳	廿三日	東畑一	高見	明子	七十六歳	廿六日	伏原二	中本	盛雄	八十七歳
十一日	西中央三	沖本	フシエ	七十九歳	廿二日	上平原町	浜田	須磨子	七十六歳	廿六日	焼山ひのけ丘	山根	市太郎	九十六歳
十二日	千葉真山武郡	宮串	敏	七十六歳	廿七日	望地町	折中	均	七十七歳	廿日	薬師地	薬師地	シツエ	九十七歳
十二日	畝原町	西川	小夜子	七十四歳	廿八日	東愛宕町	橋本	重人	九十一歳	二〇〇六年一月				
十三日	西惣付町	斎藤	キミヨ	九十三歳	二日	内神町	竹岡	フミエ	九十一歳	二日	長ノ木町	折本	文字	百歳
十九日	西惣付町	西	重美	八十八歳	六日	長ノ木町	古賀	イツエ	八十六歳	六日	長ノ木町	伊ツエ	八十六歳	
廿三日	下山田町	西	フミエ	九十一歳	十日	西三津田町	橋本	正	八十五歳	十日	西三津田町	正	八十五歳	
廿三日	山手一	橋本	重人	九十一歳	十日	上山田町	折出	忍	四十六歳	十日	上山田町	忍	四十六歳	
廿七日	三糸一	岸本	漣之	八十五歳	十三日	内神町	岡	ヒサヨ	一〇〇歳	十三日	内神町	ヒサヨ	一〇〇歳	
廿七日	二河峽町	積河内	公徳	七十二歳	十四日	西愛宕町	吉中	武雄	八〇歳	十四日	西愛宕町	武雄	八〇歳	
十四日	伏原一	青木	サトミ	七十六歳	十七日	内神町	折本	マサヨ	九十九歳	十七日	内神町	マサヨ	九十九歳	
廿二日	上平原町	須磨子	七十六歳	廿四日	上山田町	末広	良文	八十六歳	廿四日	上山田町	良文	八十六歳		
廿三日	東畑一	高見	明子	七十六歳	廿四日	西辰川二	南崎	慎喜	八十五歳	廿四日	西辰川二	南崎	慎喜	八十五歳
廿七日	西辰川二	馬場	ノコ	八十七歳	廿七日	西愛宕町	高尾	重信	七十三歳	廿七日	西愛宕町	高尾	重信	七十三歳
廿八日	三糸一	折中	均	七十七歳	廿八日	本町	平田	勝美	九十一歳	廿八日	本町	平田	勝美	九十一歳
二日	内神町	橋本	重人	九十一歳	七日	平原町	宮田	功	八十七歳	七日	平原町	宮田	功	八十七歳
二日	長ノ木町	久保田	利数	九十五歳	八日	三糸四	真鍋	国俊	六十七歳	八日	三糸四	真鍋	国俊	六十七歳
九日	焼山政敏一	小田	五郎	八十七歳	八日	長谷町	広岡	精一	七十九歳	八日	長谷町	広岡	精一	七十九歳
九日	望地町	青木	昭典	七十七歳	十三日	東中央四	浦島	敏夫	八十七歳	十三日	東中央四	浦島	敏夫	八十七歳
十日	東愛宕町	倉貫	末次	一〇六歳	廿二日	西中央三	板木	志まゑ	九十二歳	廿二日	西中央三	板木	志まゑ	九十二歳
十三日	東愛宕町	向井	鈴江	八十六歳	廿四日	西中央三	寺川	ミチノ	一〇一歳	廿四日	西中央三	寺川	ミチノ	一〇一歳
十五日	中通一	樋口	静枝	五十九歳	廿四日	焼山本庄二	藤谷	キミエ	八十九歳	廿四日	焼山本庄二	藤谷	キミエ	八十九歳
十五日	下山田町	水田	サチ子	八十五歳	廿八日	上山田町	荒川	誠治	七十二歳	廿八日	上山田町	荒川	誠治	七十二歳
十六日	本通七	橋本	勇子	九十一歳										

(年齢は数え年・敬称略)

竹岡フミエさん

下山田のお世話人として、ご報酬下さいました。いつも微笑を絶やさず、夫の唯雄さんとともに、よくお聴聞されました。

樋口静枝さん

郷町のお世話人としてご報酬下さいました。明るい、責任感の強い、そして涙もろい、とても優しい方でした。

吉中武雄さん

長年三津田支坊の帳場をつとめられました。体調を崩され、退かれて後は、三津田地区総代として重責を果たされました。降誕会ビンゴゲーム大会に多額のご寄付を下さり、おかげで景品がグレードアップし、参加する子どもも増えました。

末広良文さん

長々木本坊帳場として、長年支えて下さいました。お聴聞だけでなく、中央仏教学院で通信教育を受けられたり、広島の実宗学寮や壮年人等で、熱心に学ばれました。温厚な方で、じやかな笑顔が印象的な方でした。